

1 月号

写真：「子どもの学習意欲を高める授業探究研修」より

- ◆ 1 ページ
 - ・ 研修紹介 (子どもの学習意欲を高める授業探究研修)
 - ・ 学校紹介 (落合小学校)
- ◆ 2 ページ
 - ・ 授業づくりシリーズ 学ぶ意欲が高まる授業を目指して (小学校理科編)
 - ・ 情報FLASH 「授業改善推進校」 (早稲田小学校)

研修紹介

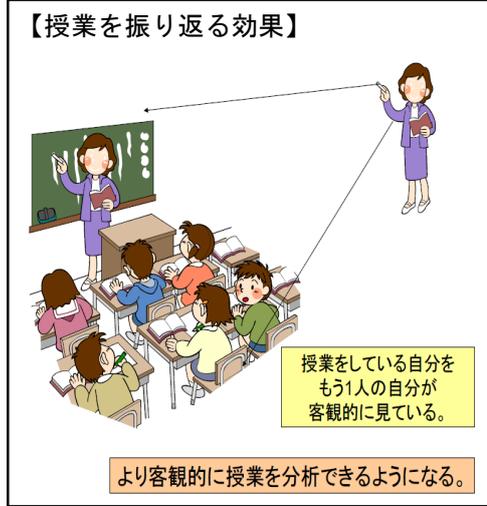
振り返りで授業を究める

子どもの学習意欲を高める 授業探究研修

本研修では子どもの学習意欲を高める授業づくりをテーマに、各自が自身の授業をビデオやシートに記録し振り返ることを通して、よりよい授業の在り方を探究しています。

年間を通して指導いただいている広島大学の柳瀬陽介教授から「見落としていることはないか、見えていないものはないか」という視点で自分や子どもの姿を客観的に観察し研究を深めることを学びました。(振り返り方を振り返る)

分かっているつもりでも授業をしている時の自分の姿や子どもの様子について、全ては見えていません。見えていない事実を知ろうとする振り返りの姿勢こそが授業を究める第一歩となります。



【受講者の声】

- ・ 授業ビデオで振り返りを行ったことはあったが、この研修ほど、いろいろな人に見てもらって語り合ったことはなかった。仲間と本音で語り合い、多様な視点での振り返りをする事で、授業が見えてきた実感がある。
- ・ 振り返りの視点を見直すことや見直そうと考えることで、授業が客観的に見えてきた。

学校紹介

家庭・地域と連携した読書活動の推進

落合小学校

落合小学校では、読書活動の推進を図るため、家庭・地域と連携して、子どもが本とかかわる機会を増やす取組を行っています。この取組を通して、本の貸し出し数や本好きな子どもの増加等に繋がっています。また、学校においては、読書をより親しみやすくするため、子どもの公募で決定したキャラクター（ブックドック）を活用し、お勧めの本などの紹介を行っています。



<子どもが本とかかわる機会を増やす取組>

どこでも読み聞かせ

年3回程度、校庭や音楽室などの複数の場所で、教員が読み聞かせを行います。

児童は、校長室前に掲示してあるポップを見て、どこに行こうか楽しみにしています。



親子読書

夏休みの期間中、以下の3つの読書方法を各家庭で選び、親子で読書を行います。

<3つの読書方法>

- ・ 家の人と一緒に読む。
- ・ 家の人に読んでもらう。
- ・ 自分が家の人に読んであげる。

<保護者の感想>

「普段なかなか一緒に読むことがなく、同じ本を一緒に読んで共に考えることが出来てよかったです。」
「やさしい目線でお話を読んでいる姿を見て、うれしく思いました。」

ボランティアによる読み聞かせ

保護者や地域の方による読書ボランティアが、子どもたちに読み聞かせを行います。

- ・ 昼休みのお話会 (月1回程度)
- ・ クラスでの読み聞かせ (月2回程度)



～子どもの心に火をつける～ **学ぶ意欲が高まる授業を目指して**

子どもたちの「学ぶ意欲」を高めるためには、学習過程の中の「導入場面」「課題認識場面」「課題解決場面」「振り返り場面」の中で、子どもが主体的になれる活動を仕組むことが重要です。

今回は、小学校第3学年「光とかがみ」の導入・課題認識場面において、既習事項や模擬実験からの気づきを整理し、問題意識をもたせた例を紹介します。小学校では、第1学年、第2学年で生活科を学習し、第3学年から理科の学習が始まります。そのため、第3学年においては、特に、問題意識をもたせるための振り返りや意図的な活動を丁寧に仕組んでいくことが大切です。

導入・課題認識場面の工夫 **気づきを整理して問題を焦点化** 小学校理科編

本実践では、虫めがねで日光を集めると、光を当てたところの明るさや、あたたかさが変わること理解することがねらいです。はじめに、既習事項の振り返りを行い「明るさ・温度」という2つの着目点を押さえました。その後模擬実験を行い、温度に着目させることで、問題意識をもたせることができました。

また、模擬実験は、実験方法や安全面の確認をするためにも有効でした。

小学校第3学年
「光とかがみ」
福木小学校
島 享子 教諭

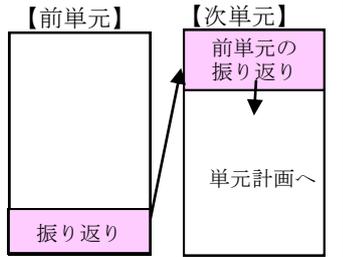
導入場面		課題認識場面		課題解決へ
<p>既習事項 鏡で日光を集めると</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るくなる ・温かくなる <p>前時のイメージ化</p>	<p>着目点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るさ ・温度 	<p>虫めがねで日光を集めると、光を当てたところはどうなるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るくなると思う ・熱くなると思う ・紙が焼けると聞いたことがあるよ 	<p>模擬実験</p> <p>ライトを太陽に見立て</p> <p>児童の気づき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るくなった ・虫眼鏡の位置で光の大きさが変わる ・温度はわからない <p>虫めがねで日光を集めると、光を当てたところのあたたかさはどう変わるだろう。</p>	

教育委員会発！情報FLASH 主体的な学びに向かう振り返り

指導第一課から 早稲田小学校

子どもたちが授業での学びを整理し、学んだことを再認識するための振り返りは、これまでも大切にされてきました。しかし、ノートやシートに記述した各自の振り返りが、その後、効果的に活用できないといった声をよく聞きます。

早稲田小学校では、振り返り活動を重視し、前単元の振り返りを次単元につなげよう取り組まれています。今回は、前単元の振り返りを次単元の導入場面に取り入れることで、前単元で学んだ思いが、「次はこうしてみたい」という次単元の動機付けとなり、主体的な学びへつながった第1学年生活科の取組を紹介します。



<p>【前単元】 おもちゃランド</p> <p>2年生が作ったおもちゃで一緒に遊ぶ</p>	<p>【次単元】 ようちえんさんをしょうたいしよう (自分たちが作ったおもちゃで一緒に遊んだり、学校生活を紹介したりする)</p> <p>＜前の単元を振り返り次の単元の計画を立てる活動＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div> <p>前単元の振り返り</p> </div> <div> <p>次単元の計画</p> </div> <div> <p>次単元で取り組みたいこと</p> </div> </div> <p>取組のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や実物を用いて、その時の思いを十分に引き出す ・良かった姿を教師が価値付けて、自信につなげる ・付箋紙に「次にしたいこと」を書き出して整理させる <p>次はぼくたちが楽しませてあげたいな。魚釣りコーナーがいいかな。</p> <p>どんぐりスペンサーを作ったら一緒に遊べるよ。</p>	<p>＜交流当日の活動＞</p> <p>(魚釣りコーナーで) 魚が釣れないよ。</p> <p>針を直してあげよう。糸をまっすぐ下ろしてみよう。</p> <p>ドキドキするなあ。</p> <p>鉛筆をきちんと持つと線からはみ出さず書けるよ。</p>
--	--	---